

令和6年度学校評価 中間報告（各部・分掌の取組）

重点目標

授 業 づ く り

- ・ よりよい教育課程の編成に向け、教員全体で話し合い、学び合う。
- ・ 障害特性の理解を深め、卒業後の「いきジョイの実現」を見据えた小学部・中学部・高等部とつながりのある指導・支援を行う。
- ・ 一人一人が各教科等のねらいを踏まえた授業づくりを行う。

安全で安心できる 環 境 づ く り

- ・ お互いの人権を尊重し合える環境づくりを進める。
- ・ 災害等に備える視点と突発的な事態に対応する視点で一人一人が危機管理意識をもち、組織的な対応力を高める。
- ・ 積極的な情報発信・情報共有を進め、保護者、関係機関、地域との連携を深める。

働 き 方 の 改 善

- ・ 職員一人一人の生活や働き方を認め、お互いに理解し支え合う職場づくりを進める。
- ・ 児童生徒及び職員の「いきジョイの実現」に向けて、児童生徒への指導・支援に時間をかけるための働き方の改善を学校全体で取り組む。

各部の取組

項目	具体的方策	取組経過と今後の課題
Ⅰ 授業づくり	<小学部> 児童の行動を理解するための枠組を教員間で共有し、児童の望ましい行動を増やしていくための指導・支援方法についてチームで考え、実践する。	・部会で児童の行動とその機能を理解するための枠組み（ABC 分析と行動の機能分析等）を発信し、共有する時間を設けた。継続して、発信・共有していく。 ・強度行動障害が見られる児童については、学年や担任と相談し、冰山モデルシート等を活用して学年等で検討する機会を設けていく。 ・部の児童について情報共有する場を計画的に設定し、実施している。
	<中学部> 学習指導要領を踏まえた指導計画、授業計画を作成し、実践を通して中学部の教育課程や日課の見直しを行う。	・各教科については、昨年度作成したモデル案をもとに学習内容に偏りが無いよう年間指導計画の作成を行った。合わせた指導については、学習計画に該当教科を明記し教科目標や内容を意識づけるようにした。また、重複障害学級の合わせた指導の学習内容の洗い出しを行った。今後はそれをもとに年間指導計画のモデル案作成に入る。 ・各学年にアンケートを行い、現状の日課についての課題点を確認した。小学部や高等部の目標を踏まえつつ、中学部として何を大事にするのかを改めて確認し、教育課程、日課表の具体的な見直しの検討を進めている。

<p><高等部></p> <p>令和6年度の教育課程メジャーバージョンアップに伴い、部全体でカリキュラムマネジメントを進める。</p> <p>「もっといい授業、もっといい学び」のために、次なる手だて（改善案）を明確にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は1単位時間を50分とし、また、10分の帯時間を設定している。帯時間の自立活動の年間指導計画の様式を新設した。 ・教育課程全般について、今後職員から意見を聞き、集約してよりよい運用や修正案について検討していく。 ・授業の評価や実践例について、集約していく予定である。
<p><施設内学級></p> <p>個々の特性を理解し、活動内容の充実を図り、個に合わせた授業を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活単元学習記録シートを使用し、単元の終了時に、授業の反省を行い、記録として残し、次年度へつなげるようにした。 ・生活単元学習で、「乗り物に乗って旅行をして、旅行先で主な活動をする」という流れを設定し、繰り返しの学習をすることで、見通しをもって安心して取り組めた。 ・様々な感触の物に触れたり、明暗を体験する学習を多く取り入れたりして、五感を刺激する経験を増やしていく予定である。 ・病棟との朝の打ち合わせて児童生徒の体調面を確認し、その日の授業の取組方法を考えて、教師同士で共通理解を図っている。学校での様子（体調面や発作など）を看護師に伝えている。
<p><研修部></p> <p>教員が部間のつながりを意識しながら、児童生徒一人一人の指導や支援について考え、実践できるようにサポートする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季研修会では、外部講師による研修を実施した。研修を通して、児童生徒の「自発的・主体的遊びの充実」についての理解を深めるとともに、楽しみ、遊びの中からの学びにつながる支援を考える機会となった。 ・部を越えて、互いに気軽に授業を見合う機会として、「部を越えた自由な授業参観」ができる期間を10月、1月と2回設定している。他の部の様子や子どもを知ることで、部間の共通理解を深めていく。
<p><保健体育部></p> <p>児童生徒の健康課題に対し、適切な支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の結果をもとに、肥満傾向にある児童生徒の把握し、肥満指導を行っている。必要に応じて保護者と面談し、栄養指導にも取り組んでいる。今後も継続して体重測定などの肥満指導を行っていく予定である。
<p><自立活動部></p> <p>自立活動のねらいを踏まえた授業づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家活用事業の自立活動相談の相談内容を職員向けの自立活動だよりで報告するようにした。自立活動の授業の実践を紹介するとともに、指導・支援をする上での大切なポイントを分かりやすく伝えることに重点を置き、できるだけ多くの先生方に共有してもらうことを目指している。 ・今後は、自立活動相談に積極的に参加してもらえるように、相談を募る際には学年会なども活用し、学年全体としても自立活動の取組について考えるようにしていきたい。
<p><教育支援部></p> <p>児童生徒の支援において、関係機関との連携を図り、学校全体で取り組める様々な支援方法を共に考える場をつくり、実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市こども発達センターとの相談会を実施した。助言内容はTeamsを利用し、全職員に思考を投げかけるような内容で簡潔に発信した。 ・選択研修を3回計画し、7月までに2回実施した。昨年度に続き、豊田市と協力して強度行動障害について取り上げ、具体的な支援方法について考える場となるようにした。研修の場で実践練習になるような内容にしたことで、アンケートでは「授業で活用したい」という声が多数集まった。 ・今後さらに、一部の児童生徒に対する支援会議や相談会で得た情報でも、必要なことは全校周知し、職員が自分事と捉えて考え、実践へとつながられるようなきっかけをつくりたい。

2 安全で安心できる環境づくり	<p><小学部></p> <p>児童が安心して笑顔で過ごし、成長できるように、主体的に行動ができる環境をつくったり、成長につながる適切な言葉がけや関わり方について考えたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部内で温かな言葉がけと柔らかな支援を心掛けている。 ・視覚支援や構造化を踏まえて、児童が分かりやすい環境づくりをさらに進めていく。 ・チーム・ティーチングの在り方について振り返り、児童が分かって動くことができる環境づくりを進めていく。 ・学年会や部会等で、児童の人権を尊重し成長につながる適切な言葉がけや関わり方について情報提供したり、振り返ったりする機会を今後設定していく。
	<p><中学部></p> <p>生徒の支援体制を整え、情報共有をしながら指導・支援にあたるとともに、学習活動や部の取組を発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援等に困った生徒に対して、部内の関係分掌主任・主事と連携して対応を行っている。今後もケースごとに必要な連携を考え支援の協力体制を整えていく。 ・計画に沿って月1～2回部内の活動の様子をホームページにアップしたり、各学年で通信を配付したりしている。
	<p><教育情報部></p> <p>校外向けホームページで学校の取組を発信し、安心できる学校のイメージを高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで活動の様子を伝える「学校生活」のコーナーを始め、週1回程度の更新を続けることで、保護者や地域の皆様に最新情報を提供することで、学校への信頼感の向上を図っている。掲載するコンテンツが増えていくことで、欲しい情報への道が複雑になってきているので、「見やすいホームページ」を目指したい。
	<p><生活指導部></p> <p>緊急時の際、児童生徒職員が、どう行動すべきか基本的な動きを理解し、その時その場で判断し対応する力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員避難訓練、地震避難訓練、不審者対応避難訓練を実施し、訓練の反省から対応のあり方を検証し情報共有した。現職研修で「マイタイムラインをつくろう」を実施し、災害時に、誰が、何を、いつまでに行うのか、といった考え方を研修した。後期も訓練等を実施していく中で、本校における対応のあり方をつくっていききたい。
	<p><進路指導部></p> <p>教員や保護者に向けて、進路に関する発達段階に応じた情報を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月年度始めの「進路に関する調査」では、保護者からの進路に関する質問に対し、個別に回答を用意し、担任を通じて懇談で答えた。小6保護者対象の「進路説明会」では、中学部の取組を聞いたり、授業参観したりすることで、今後の見識を深めることができた。(小学部) ・中1保護者対象の情報連絡会を開催し、福祉サービス事業所の内容や利用方法、現状を伝えた。また「中学部の進路の手引き」を配付することで中学部段階からの準備の必要性を伝えた。中3では、「本校高等部」の学校説明および進路指導の説明、校内見学を実施した。(中学部) ・高等部では、校内実習の目標を学年ごとに分け、段階的に指導ができるように検討中である。目標の案を学年主任や作業主担当にも確認してもらい、より生徒の実態に合ったものにしていききたい。(高等部)
	<p><保健体育部></p> <p>安全で安心して学校生活を送れる環境づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の棚や掃除用ロッカーなど、耐震が必要なものを洗い出し集約した。少しずつ耐震金具の取り付けや補強を行っている。今後は、校内全ての耐震補強を行うとともに、危険物や不要物の撤去を行う予定である。
	<p><教育支援部></p> <p>ニーズに応じたサポートや情報発信を進め、地域との協働体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のアンケートと、今年度の巡回相談で受けた相談内容や地域校の実態をもとに、ニーズに応じた夏季研修を2回実施した。地域校のニーズが、基本的な支援方法だけではなく卒業後など先を見据えた上での支援や子ども理解についても深まってきており、これまでの支援が浸透してきていると感じる。進路指導部とも情報を共有しながら引き続きサポートと情報発信をしていく。

3 働き方の改善	<p><高等部> 生徒の指導・支援に時間をかけられるよう、学校の中にある業務、環境、仕組みを徹底的に改善する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究とも関連付け、各チームにおいて高等部職員が部の現状を報告したり、改善に向けての意見を出したりしながら学校全体で話し合いを進めている。 ・話し合いでの各チームでの成果や課題を高等部でも反映していく。
	<p><総務部> 職員室内のロッカー等の整理整頓を行い、事故等を未然に防ぐために安全対策を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室内のロッカー等の整理整頓をしているところである。棚の上に置いてあるものを片付けている。使用していないもの、必要のないものは、随時処分を進めている。
	<p><教務部> 教務関係書類マニュアルや校務支援システムの有効な活用を進め、年度当初をはじめとした業務の改善を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教務関係書類マニュアルについては、Teams にアップロードすることによりどの職員も必要なときに見てもらいやすくした。また、紙媒体で配付することを少なくしていくことで、担当職員の業務も改善できた。書類作成で必要なときに各自がファイルを開いてもらえるように啓発を今後も進めていく。 ・校務支援システムについては、担当者で運用方法の確認をしている。今後は円滑に進めていけるように、「どの時期に」「誰が」「何をするのか」を整理し、年度末、年度当初の業務を軽減できるような活用方法、手順を示せるようにしていく。
	<p><研修部> いきジョイ（校内研究）に全校で取り組み、「質の高い学び」「持続可能な学校」を同時に実現していくための働き方を全教員で共に考え、検討していく中で教育活動に取り組む環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五つのグループに分かれ、日頃の業務の中での課題を出し合い、すぐに取り組めるもの、検討や調整が必要なもの、予算が必要なものに内容を整理した。今後は、小学部、中学部、高等部、運営委員等と連携を図り、整理された課題について改善ができるものから取り組んでいく。 ・学校全体の業務改善について意見を出し合い、一人一人が自分事として考えながら話し合うことができていく。 ・次年度からは新しいテーマでの研究となる。新テーマ設定や校内研究の枠組み、構成などについて検討していく。
	<p><教育情報部> ICT を活用して業務の省力化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT の効果的な活用に関する職員向けの研修をいくつか実施した。研修内容が広まることで、今後の業務の効率化と時間の節約が期待できる。 ・教育情報部の職員で学校外の研修にも積極的に参加し、業務の効率化に関する情報を集めることができた。
	<p><自立活動部> 自立活動に有効な動画を発信し、業務の効率化を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動に有効な動画をまとめた「じかつチャンネル」を Teams や選択研修で紹介し、共有することができた。また、自立活動だよりや選択研修会で使用したパワーポイント資料を Teams のファイルに保存し、気軽に研修に取り組めるような環境づくりに取り組んでいる。 ・今後は、いきジョイの働き方改革の一環としても、動画の共有を呼び掛けていきたい。
	<p><教育支援部> 巡回相談等、各種記録の簡略化を行い、文書作成に要する時間の短縮を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談の記録方法を見直した。相談当日の記録用紙を新様式にして、職員が手書きしたものをそのまま記録として残した。子どもの基本データは、地域校が作成する『支援のための相談シート』に統一した。記録を改めてデータ入力する手間が省け、業務時間の大幅な短縮になった。今後、記録を残す上で問題はないか検証し、必要に応じて改善していく。
<p>学校関係者評価を実施する 主な評価項目</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じ、教科のねらいを意識した授業づくりを行う。 ・お互いの人権を尊重しつつ、一人一人が自分事として考えた安全で安心な環境づくりと支援を行う。 ・会議や委員会の質を高め、無駄をなくし職員の働き方の改善につなげる。